

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	立命館宇治中学校・高等学校 新棟	階数	地下1階、地上3階
建設地	京都府宇治市	構造	RC造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,660時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 竣工	評価の実施日	2021年6月28日
敷地面積	115,996 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社山下設計 服部 久雄
建築面積	1,178 m <sup>2</sup>	確認日	2021年6月28日
延床面積	2,844 m <sup>2</sup>	確認者	宇治市



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・地域の特性や学校の特色を活かした計画 ・建物の高断熱化		<b>その他</b> ・保存林、保安林の保護
<b>Q1 室内環境</b> ・廊下部分を含めた清潔性、温熱環境への配慮 ・外気処理空調機を採用、建物背面の山からの湿気に対して除湿能力を確保 ・化学物質 (VOC) の低減	<b>Q2 サービス性能</b> ・バリアフリー化 (多目的トイレ、エレベーター、引き戸など) ・耐震性能の向上	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・敷地の山側に散策路を整備
<b>LR1 エネルギー</b> ・LED証明器具の採用 ・照明への人感センサーの採用、間引き点灯 ・既存建物の中央熱源を活用、稼働率の向上による熱源効率の向上	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・再生材 (クラッシュラン等) の利用 (低環境負荷材) ・節水型衛生器具の採用 (水資源の保護)	<b>LR3 敷地外環境</b> ・近隣住宅からの視線に配慮 (建物高さを抑える) ・悪臭の防止 (排気口の向きを山側とする)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される